

令和5年度 射水市

地域部活動推進事業実証事業について

令和6年3月5日（火）
令和5年度 第3回地域部活動検討委員会
【実証事業最終報告】



実証事業校・実証競技

【通年実施（4月～3月）】

※R6.3.1現在

	剣道	柔道	バスケットボール
対象校数	男子6校 女子6校	男子5校 女子1校	男子3校 女子5校
登録生徒数	120名	62名	84名
活動形態	【集中型】 1会場 【分散型】 3会場	【集中型】 1会場	【集中型】 男子 1会場 【集中型】 女子 1会場
主管及び指導者	射水市剣道連盟	射水市柔道連盟	射水市バスケットボール協会
指導者数	23名	9名	20名

【新規実施（9月～3月）】 ※高岡地区新人大会終了後から開始

	ハンドボール	卓球	ソフトテニス
対象校数	男子1校 女子2校	男子4校 女子3校	男子5校 女子5校
登録生徒数	50名	89名	134名
活動形態	【分散型】 3会場	【集中型】 1会場	【集中型】 1会場
主管及び指導者	射水市ハンドボール協会	射水市卓球協会	射水市ソフトテニス協会
指導者数	9名	8名	4名

実証内容

1 関係団体・分野との連携強化

射水市体育協会へ指導者の派遣や会場確保といった地域部活動の運営事務を段階的に委託し、持続可能な組織体制の整備を推進する。

2 参加費用負担の支援等

地域部活動の持続可能な事業実施のための経費を算出・整理し、保護者の費用負担についての在り方を検討する。

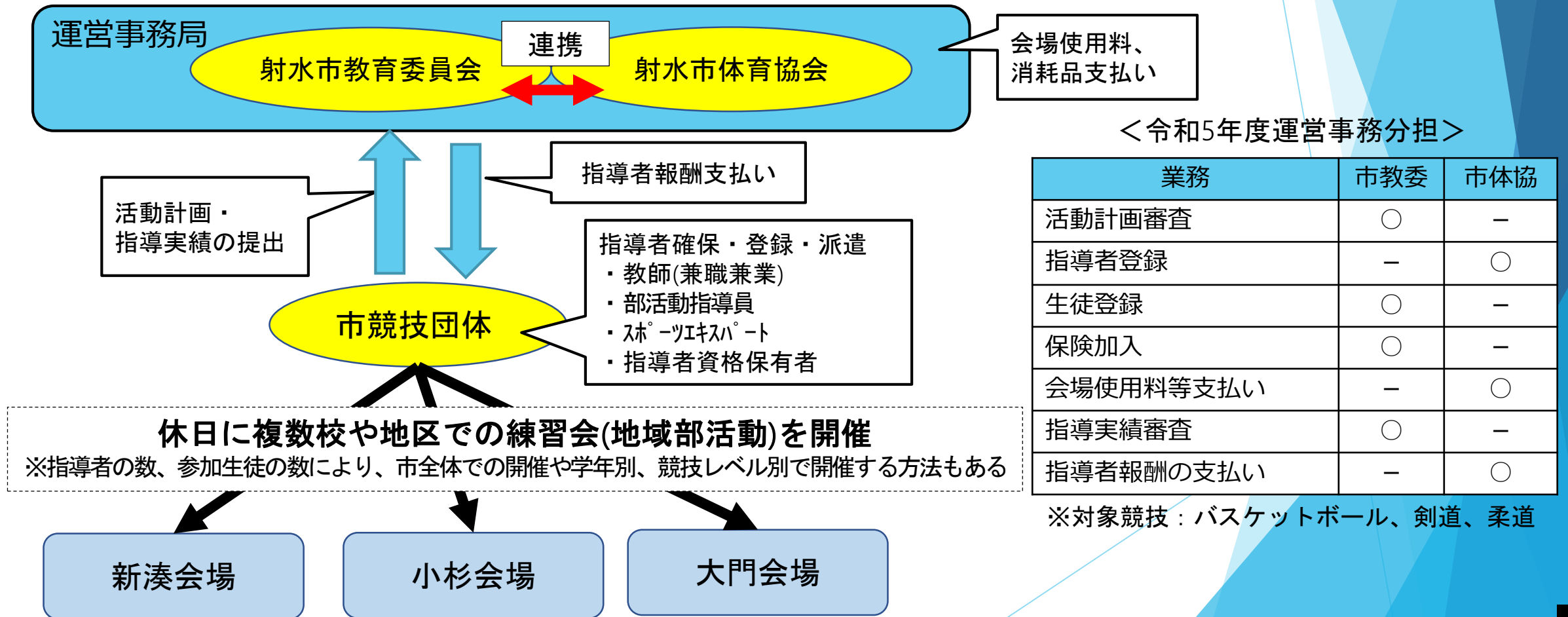
3 学校施設の活用等

学校体育施設を活用した場合における課題を整理し、教師の負担増とならない運用ルールを策定する。

成果

1 関係団体・分野との連携強化

地域部活動の運営事務の一部を射水市体育協会へ委託した。持続可能な組織体制を整備するため、委託業務の範囲を段階的に広げていく。



成果

2 参加費用負担の支援等

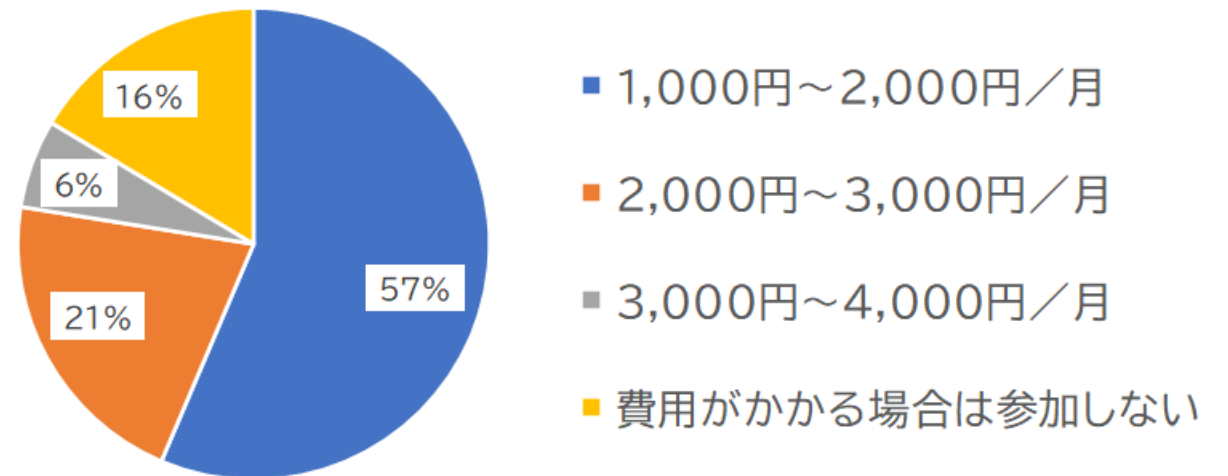
■地域部活動実証事業の経費

事業実施経費（※）	4,000,000円
生徒数	266名
生徒1人あたり	15,037円
月額	1,253円

※経費の算出は通年実施した剣道・柔道・バスケットボール競技の年間経費見込み額（指導者報酬、保険料、会場使用料等）

■保護者向けアンケート（結果）

地域部活動にかかる費用負担



Q.今後、地域部活動に係る費用を保護者が負担すると
して、妥当な金額を教えてください。

成果

3 学校施設の活用等

【施設予約】 年度当初に地域部活動の活動計画を作成し、
学校施設の利用を調整

【利用時】 あらかじめ利用方法やルールについて確認

- **鍵の開錠及び施錠**
 - リモートロックの活用
 - 鍵の受け渡し
 - 教職員等の学校関係者による対応
- 利用簿の記入等のルール
- 緊急時の連絡方法 など

課題と課題解決に向けて

1 指導者不足

地域部活動を引き受ける競技団体が少ない。

- ・ 指導者不足（特に大会引率も含めた指導が可能な指導者）
 - ・ 会場予約、費用徴収、連絡調整等の運営事務の負担
- 運営事務と指導の分担
人材バンクの活用、市広報等による募集
教職員（部活動顧問）の兼業（希望者による）

2 中体連大会の参加要件の緩和

地域部活動の参加要件の緩和

- ・ 1団体（地域部活動）複数チーム登録可能
 - ・ 複数校（市外も含む）の生徒が参加可能
- 多くの生徒が自由に参加可能となるよう要件緩和を要望

今後の予定

実施方法	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度～
新規実施	【3競技】 柔道 剣道 バスケットボール	【3競技】 ハンドボール 卓球 ソフトテニス	【3競技】 今後検討	【8競技】 今後検討	
通年実施 (事務局体育協会)		【3競技】 剣道 柔道 バスケットボール	【6競技】 剣道 柔道 バスケットボール ハンドボール 卓球 ソフトテニス	【9競技】 剣道 柔道 バスケットボール ハンドボール 卓球 ソフトテニス + 令和6年度新規競技	【全競技】 17競技

新体操、ソフトボール、バドミントン、ヨット、陸上競技、体操、軟式野球、サッカー、バレーボール、相撲、水泳